

特集2 認定企業インタビュー

社員も会社も元気になる 私たちのワーク・ライフ・バランス

台東区では、仕事と生活を両立しながら、いきいきと働き続けられる職場の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスに取り組む中小企業等を「台東区ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定し、その取組を応援しています。

自社の特色を活かしながら、ワーク・ライフ・バランス推進に取り組む、新規・更新認定企業2社の方々に、取組をはじめのきっかけや具体的な方法、その効果などについてお話を伺いました。

メトロ設計 株式会社

認定分野 子育て支援 働きやすい職場づくり
 ■業務内容：建設コンサルタント、鉄道関連施設、地下トンネル、無電柱化の調査・設計など
 ■従業員数：28人(女性9人、男性19人)

創業57周年を迎え、設立時の日本の技術を未来に伝えていくという想いを継承し続けているメトロ設計株式会社。働く人が幸せな環境づくりをめざし、今回新規で認定されました。

我が社の取組



代表取締役社長
小林 一雄 さん

テレワーク推奨や残業時間削減などに取り組む

当社は技術を大切にしています。当社の地下構造物の設計も特殊なもので、そうした技術を身につけた社員に活躍し続けてもらえるような職場づくりを、以前から取り組んできました。自分の代になり、経営理念等に沿って会社の仕組みを作っていくというところで、ワーク・ライフ・バランス認定にチャレンジし、認定されました。

おともに、テレワーク推奨や残業時間の削減などに取り組んでいます。

社員にききました



業務推進
グループリーダー
小石 富美江 さん

私は生け花が好きで、ライフワークにしています。生け花の活動優先のため、最初は静岡事務所の短期アルバイトとして入社し、15年たちました。当時、社長が「どんな働き方ができますか。何をやりたいですか」と聞いてくれたのが、とても印象に残っています。その後、本社勤務の声をかけてもらい東京に来ましたが、思い返してみると、本当にありがたい話でした。

会社がワーク・ライフ・バランス推進に取り組んで、どんな働き方でもできるんだと思うようになりました。それまでは、「ねばならない」という制約に自分をあわせて職場を探すという感じだったのですが、通勤も時間も、働きやすさを求めているんだと。社長が「働きやすい最適解を見つけていけば良い」というスタンスで、じゃあ私には何が大事なのかと考えました。仕事もですが、好きな生け花や自分の年齢・健康も大事。そうしたいろいろなことの中で働きやすさを求めることが「アリ」なんだなという気持ちになりました。周囲にもそう言えるようになってきましたね。

以前から在宅勤務の社員もいましたが、コロナ禍を契機に、全社員のテレワークを可能としました。社員も、最初は不安だったと思います。しかし、やってみたら「意外とできるな」という感じで、今後も継続していきたいと考えています。残業時間の削減に関しては、スキルマップを作成し、業務が集中したときに分散したり、手助けができるようにしました。昨年は、社内の組織変更とコロナ禍が重なり、グループリーダーにはだいぶ負担がかかっていました。申し訳ないと思いつつ、頑張ってもらっているところです。

より自由度の高い働き方を推進 7月から、月フレックスという、より自由度の高い働き方など新しい制度を運用することで、さらにワーク・ライフ・バランスを推進する会社になりました。実際、家族の介護が必要になった男性社員や、コロナ禍の中、通勤が不安なシニアの技術者もテレワークで働いていますし、通勤は難しいけれどテレワークなら働けるといいう人も、今後採用していきたいと話しているところがあります。

我が社の取組



代表取締役社長
小牧 明 さん

株式会社 コマキ楽器

認定分野 子育て支援 働きやすい職場づくり
 ※平成29年度認定(新規) 令和元年度認定(更新)
 ■業務内容：打楽器をメインとした楽器類の小売販売など
 ■従業員数：19人(女性9人、男性10人)

浅草で店を構え、今年で創業90周年となる株式会社コマキ楽器。認定を2回受け、現場のアイデアを取り入れた改革を次々行うなど、継続してワーク・ライフ・バランスを推進しています。

就業規則の整備や働き方を
見直す

ワーク・ライフ・バランスに取り組むきっかけは、台東区の認定制度を知り、時代の流れも含めて会社を変えていくべきだと考えたからです。そこで、おもに、残業時間の削減、就業規則の見直し、育児・介護休業規程の策定などの取組を始めました。

専門店のため、それぞれ得意分野に業務が特化してしまい、それが残業時間に影響を及ぼしていたのですが、店舗用パソコンの設置など、現

社員にききました

経理部課長
畑中 真利子 さん



働き始めて20年を超えました。以前は弊社に産休育休の前例がなく、自分が妊娠・出産となったとき、どのように仕事を進めるべきかと不安でした。ちょうど就業規則が改正された頃に産休育休を取ったアルバイトがあり、社内にも認識ができてきたと思います。

いざ自分が産休育休を取るようになったときには、専門的な担当業務をどう引き継ぐかを特に悩みましたが、社長とワーク・ライフ・バランス推進担当の専務に助けていただき、また周りの社員にも業務負担の協力をいただき乗り越えられました。

育休は夫婦で取りました。おかげさまで新しい家族と3人で初めてのことをするという、とても良い時間を過ごせたと夫婦ともに感じています。弊社に限らず、男性も積極的に育休が取れるようになったら素晴らしいですね。

今は子供が小さいので、仕事以外の自分の時間はなかなか取れていませんが、ワーク・ライフ・バランスは、子育てや介護だけじゃない、もっと広い意味があると思います。ライフスタイルや仕事以外の活動を充実させることで仕事にも還元できるよう、働き方や休暇の取り方など、お互いに歩み寄っていただければいいですね。

●仕事と仕事以外の時間をどう
過ごすか、バランスを大切に
私自身、「仕事だけじゃないよ」と思っているから、習い事でも家でのんびりでもいいから、仕事以外の時間をどう過ごすか、バランスを考えるというのは引き続き推進したい。そのためには、単に「残業時間を減らす」だけでなく、与えられた仕事をぎゅっと凝縮する工夫が必要ですし、アドバイスもしていきたいです。

場の意見も取り入れながら残業時間の削減につなげていきました。残業をしている先輩を見て仕事を学ぶとか、先輩がいると帰りにくいといった社内の古い風土を切りかえる必要がありましたし、社員がそれぞれ考えて行動できるように会社を変えたいとも思いました。昔に比べて社員の意識はだいぶ変わったと思います。これも取り組み続けていく課題です。

持てたという畑中の話につながったのであれば、とても嬉しいですね。

台東区 ワーク・ライフ・バランス 令和2年度認定企業



認定企業[新規6社]	認定分野	認定企業[更新9社]	認定分野
株式会社 ジオテック情報システム	①②	株式会社 インタープレジエント	①②③
株式会社 エドリック	①②	有限会社 にしかわ弁慶	②
浅間商事 株式会社	②	浅草建材リース販売 株式会社	①②③
株式会社 ネオマウント	②	ティー・エヌ・エス 株式会社	①②③
協栄化成 株式会社	②	株式会社 サンシーア	①②
メトロ設計 株式会社	①②	スリーピース 株式会社	①②③
☆認定分野☆		株式会社 吉徳	①②
①子育て支援…育児休業取得の促進、子育てしながら働きやすい環境の整備など		株式会社 平岡	①②③
②働きやすい職場づくり…長時間労働の削減、女性の能力活用のための取組など		株式会社 ウィルド	①②
③介護支援…介護休業取得の促進、介護しながら働きやすい環境の整備など			